

(2025 年度 第 05 回) さくら山王自治会 役員会議事録

開催日時：2025 年 08 月 23 日 13:00～14:45

場所：山王集会所

参加：20 名 欠席：4 名（役員：24 名）

【配布資料に関する確認事項】

班長会手引きの記載内容を再度確認した。回覧資料は自治会からの発信資料なので、事前に会長が目を通しておきたい。会議の説明資料も期限（木曜日まで）があり、会議資料準備に協力をして欲しい。

【玄関扉のオートロック修理報告】

先日、玄関扉の鍵が壊れ鍵が開かなくなり業者を呼び対応した。この件に関し5万円の費用がかかった。。、利用者から暗唱番号を入れてもキーが回らないとの連絡があり、鍵で開けようとしてもシリンダーが回らなかった。やむを得ず業者を呼び対応した。サムターンを出した形で開錠状態にして、鍵に負荷がかかることが原因のひとつと業者に指摘された。出入りが多い際は扉を開けたままにしておく形で運用して欲しい。扉全体を交換しなければならない状況になると、費用がもっとかかることになる。トラブルが起きた際は、玄関鍵を担当する会長に連絡してください。

【施設部】

コピー機、印刷機の利用に関し運用を変えたことから4月から7月のコピー機、印刷機の利用結果報告があった。

【まちづくり委員会】

(敬愛跡地の新設工事)

9月7日（日）10：00～12：00に、デベロッパーによる説明会を開催する。

デベロッパーの株式会社創建の会社概要、今後の開発スケジュール、工事の概要、地元の住民に対しての留意点の説明のあと、質疑応答をする。当日は60～100名の参加を見込んでいる。回覧資料に案内を用意して住民に告知します。配布資料については、先方の許可を得てからホームページに掲載することにも検討します。

(3・4・29号線延伸計画)

南図書館から大篠塚、小篠塚を抜けて 51 号に繋がる道を整備する計画があります。約5年前から道路計画であるが実際進んでいない。佐倉市都市計画課に訪問したり、大篠塚・小篠塚の区長と会議をもった。区長との話の中で、道路計画区域内に廃屋があり、所有者不明で話が進まないとのこと。山王小学校のスクールガードは大篠塚・小篠塚の自治会と一緒に活動をしており、道路が広がれば、通学の安全に繋がること、既存道路の渋滞解消に繋がることは佐倉市も理解している。計画が進むように関係地域全体で共同して進めていきたい。道路計画地域の現地確認をしようと考えている。

(地区計画)

山王地区の一部が一般住宅ではなく商業区域の規制がかかっている。具体的には、動物病院の入るブロックと保育園からなみ屋のブロックである。規制ができた経緯は、約20年前に緑化協定が切れること

からそれに代わる地区計画を作る必要性があった。緑化協定を生かし、秩序ある良好な住宅区域を佐倉市と協議し2001年の総会に提案。地区計画が議論され、同時に地権者への意向を聞き、2002年に作業を進め、住人合意として市役所へ提出。2003年に市条例として制定された。当時の議案書を見ると、10年後に地区計画を見直しを行うと記載されている。交通の便、買い物対策、子供・若者たちが生活しやすい環境、高齢者対策、住民交流、自治会活動の在り方などを議論する「まちづくり山王21委員会」が設置（2002年総会）されたが、翌年度の総会議案書には活動報告が上がっていない。これが現状です。まちづくりをどうするかを議論し、活気ある地域に変えていきたいと考えている。

（質疑応答）

- ・地目変更をしたらそれでまちが変わるか？個人の所有権の話である。
- ・20年近く地区計画の検討も変更もしていない。一部の地権者の方に話を伺ったが、変えても変えなくても、現状の住環境が変わるわけではないと、前向きな意見ではなかった。
- ・地目変更をしないと問題が起きるか？また地権者が変えてほしいという声はあるのか？
- ・土地計画策定時には地目変更して欲しいとの声があったと聞いたが、今はそうした声を聞いていない。
- ・であれば、他にも取り組むべき課題があるので、このことに取り組む優先順位は低いのでは？班長が少なくなっている中で、この議案に体力を使う必要はないのではないか。
- ・昨年度もこの本件を議案としてあげたが進まず終わった経緯があったので、今年度も議案として出している。確かに課題はたくさんあります。地目変更すると決めたらかなりの体力も必要です。
- ・地区計画に関して。取り組むべきかという意味確認をおこなった。取り組みへの賛同は少なかった。
- ・現状のままでよいのではないか。1丁目の地域は空地が多く駐車場も多いが、それは所有者の判断。
- ・何度か議論をしているので、検討したが役員会ではこのまま見守ることを議事録に残してはどうか？
- ・商業施設区域で建てた建物に居住しているのがダメなのか？建物の利用については自由である。
- ・商業区域の建物を社宅のようにしている建物がある。そのかたは自治会員なのか？また自治会員になれるのか？
- ・現状自治会員ではないが、希望があれば加入可能である。
- ・社宅となっている住宅から夜に奇声が聞こえてきたりする事もある。
- ・班長の役割として話を伺う事もできる。もめ事が起きないようにルールを守ってもらう、班長さんに見守ってもらうように話があった。

まとめ 地区計画については、山王地区はきちんと守られていると思う。規制区域内に建物を建てるときには建築条件が付くので、その条件にどう対応するかは施主次第。トラブルが起きないように気を付けていきたい。

議論をしてきましたが、総会議案に上げることは見送ります。地権者が困っているとの声があれば、自治会として話を聞いて、自治会として議論をしてゆきます。

【自治会運営のあり方】

現在の人事案は、総会時に現在の執行部が次年度の班長から選任して案を作り、承認決議される。自治会規約には、役員選任は班長の中から互選で役員を選び1年の任期。提案する案はこのようになります。決定機関は班長会。運営機関は役員会の役割をそのまま継続します。班長以外からボランティアで役員を募る。班長の1年サイクルではなく継続な活動ができるようになる。役員構成は、ボランティア募集と班長からの立候補の2種類になります。例えば、行事部は4月に活動が始まり例年7月に夏祭りを開催します。行事部活動が始まる同時に大きな仕事を抱えることになる。短期間の中で引継ぎがうまくいかず苦労することが多いと話聞く。

(質疑応答)

- ボランティアとして立候補者がいるのか？
- 今の形を変えないと永遠に課題が残るため形式を考えていく必要がある。また役員の解任事項は残す。
- 長く続くとボス的な存在が出来上がってしまうので、任期を設けたほうが良いのでは？
- 任期を持つと任期を終えたときそこで終わってしまうのでは？
- 任期を設けると従来と同じ形になるのでは？
- 複数年務めると副作用はあるが、複数年務めることによりできることもあるのでは？
- 必ず誰かが残るようにすればよいのでは？
- 年数をボランティア候補全員を3年にするのではなく、役割ごとに任期を決めればよいのでは？
- 経験者がサポートメンバーとして次年度も残ることは問題ない。
- 引継ぎの問題が大きいと聞かすが、今のままでも良い。変える必要はないと思う。
- 自治会の退会理由の中で「班長は良いが、役員になるなら辞めます」が退会理由の一つである。
- 班長の在り方、各部の構成自体に問題がないかを一回整理してから自治会のあり方、役員に関して議論をするのはどうか？退会理由に役員の部分が多いのであれば役割の減少や効率化から取り組めばよい。
- 自治会の部署が色々ある中、細かくしないで簡素化できないか？簡素化して部員が増えれば変わるのでは？
- 直近で夏祭りがあったので行事部に体験を聞いてみます。
- まず何から始めていいかわからない、荷が重かった。隣の畑は良く見える。大変なのは自分だけか？と思ってしまった。
- 縦割りになっている。
- 過去「防犯防災部」だったので部の統合は問題ないと思っている。現状の組み立てをどう変えるか、班の統合も今後増えてくる。そうすると班長の数が減っていく可能性が出てくる。
- イベントごとで常に協力する体制がある中、部の仕事だけでなくなっている傾向がある。
- 役割を決めるのではなく、まずは声をかけてボランティア候補を集めたいが、役員構成の仕組みを変えることを決定しないと声かけできない。来年度の役員候補（人事案）を決めるのは今の執行部。
- 立候補者が集まれば良い、しかし集まらないからどうするのか？
- 30年続いている自治会活動の中で問題はゼロではなかったが、自治会の関わり方は人それぞれである。なぜ制度を変えなければならないのかが分らない。
- 退会理由になっているから。
- 役員ではなく、班長になりたい人も沢山いる。（班長になったら役員になる可能性がある）
- 拘束が負担になっている。
- 運用を変えなくて良いということは全くないが、仮に役員候補がいなくなってしまうと、運用を元に戻さなくてはならなくなる。継続的な活動は、活動に協力してくれる有志団体がいてくれるから継続性があり、有志がいなくなってしまうとそれこそ継続性がない。元に戻すのは大変。成りての問題と継続的事業に対しての引継ぎ問題ではないか。
- ボランティアといいつつも何かをせざるを得ない状況。そこを変える方法があるなら運用変更をやらなくてはならない。
- 役員をサポートしてくれる組織があれば一番良い。外部に専門チームがあると自治会も良い。現状はオペレーションもやりつつ仕事をしているからより大変。
- 夏祭りに関し引継ぎ以外の細かいアドバイスはありましたか？

- ・引継ぎでUSBをもらった。来年度はもっとポイントをまとめた引継ぎができれば良いと思い準備している。
- ・単年度引継ぎが鍵になる部は、前年度の部員に少し残ってもらうという事ができれば一番良い。
- ・任期は1年。次年度に入ってもまた仕事をするのか、という方も出てくる。
- ・残るのではなく委員会に加入してもらう方が良いのでは？
- ・役員選考の話は良いと思う。現状を一度洗いなおし、もう一度議論が必要ではないか？
- ・苦労したから来年も役員として残ろうと頑張る人もいるかもしれないが、多くの方は終わったと思う。
- ・副班長制度が形だけで終わってしまっている部分がある。何かあればよろしくお願いしますで終わってしまう話。
- ・立候補者が集まらなければ今までと同じ。調査し立候補者がいるのであれば仕組みを取り入れてもよいと思う。
- ・立候補者がいれば賛成しす。また議論したい。
- ・推薦もあり。候補者が頭にあるので運用が決まったら声掛けをしていこうと思っている。
- ・今のメンバーのままで来年も運用してもいいと考えている。
- ・ボランティアなので時間をさけない方もいらっしゃるが、単年で担当が変わるよりは良いと思う。考えていきたい。
- ・前回の話よりも自由度が上がり、運用しやすそうで良いと思う。一方で問題点が部により違うのも理解できる。課題をだして図式にして欲しい。そうすればより深い議論ができる。
- ・与えられた仕事をやるだけで終わらないようにしたい。
- ・会員が減っていく中、班の構成を考えることも起きてくる。
- ・そもそも自治会は何をするのかを考えることになる。
- ・役割の棚卸をやりたい。
- ・総会資料にあります。資料を基に今期どう活動するかを基準としている。
- ・整理して行くのは大事。議案書は概要であり実際の作業はもっとたくさん。見える化し棚卸をすることで課題が見える。
- ・他部の業務がわからないから見える化が必要。見える化することにより作業の棚卸、削れる仕事の仕分け、効率化が全体でできる。
- ・どちらが先かではなく、同時に組織の運営システムのあり方も考える話。タスク整理は各部でまず整理してください。
- ・ホームページを軌道に乗せる課題があるため、来年度も役員を継続したいと考えている。現在は2年までと規約があるため、規約を変えてほしい。
- ・自分たちがやりやすいように変えていけばよい。
- ・継続して議論していくこととなった。

【会計部】

今年度もワンツークラブへの助成金の支給が決定したが7月に助成金の受給を保留したいと連絡があった。理由として、高齢化となり今後の運営そのものを検討している。そのため解散を前提で助成してもらう事はできないと考えている。しかし承認された事に対し辞退する事も悪いと考え、保留という形を取りたいとの事で助成金支給はしていないと報告された。